

## 編集後記

このところ寒い日が続く、インフルエンザも流行っているようですが、最近ではインフルエンザの判定が20～30分でできる検査薬と、よく効く薬もあるので早めに医者に行くのが良いそうです。

さて、今月は地震防災特集です。1995年の阪神淡路大震災では、高速道路や鉄道、転倒したビルなど大きな被害に本当にショックを受けました。あれから9年が経ち、被災者の方々は大変なご苦労をされたと思いますが、復興もほぼ落ち着いて活気のある街並みを取り戻しているようです。

最近では、東海地震がいつ発生しても不思議はないと言われています。プレート境界型の地震は100年～150年間隔で繰り返していますが、前回の1944年と1946年の東南海・南海地震では東海沖の地震は起きなかったため、東海地震はその前の安政の地震からもう150年に達し、ひずみが限界にきているということなのです。

また、これまで東海から南海沖の地震は同時または連続的に発生しているため、東海地震が起こった場合、東南海、南海地震も連続して発生する可能性があるということで、そのような場合には大変大きな被害が予想されています。

大きな地震が来るたびに耐震基準などが変更されており、これまでの経験から想定できる範囲の地震では十分な耐震性を有していると考えられますが、阪神淡路大震災における旧耐震基準の建物のように、想定外の地震にはやはり脆い面があると思います。

本号では触れられていませんが、最近では長周期地震動がクローズアップされています。現在の震度は人間が体感しやすい短周期に重きを置いています。人間には感じにくい長周期成分は建物と共振して大きな被害を出す可能性があるそうです。今予想されている地震では長周期成分が卓越する可能性があるため、対策を講じておく必要があるということです。自然が相手ですから、人間が予測できないことが起こるのも仕方ありません。想定できる範囲で十分な対策を講じたうえで、災害発生時には迅速に適切な対応が取れるような体制と資機材等の準備が必要です。

そのような観点から、本号では地震が起きた時の対策と災害対策用機械および耐震技術と実際の建物、高架橋、橋梁などの免震、耐震補強工事の概要等について特集いたしました。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらずご執筆頂いた著者の皆様に深く御礼申し上げます。

(星隈・坂本・星野)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
両角 常美	渡邊 和夫

### 編集委員長

佐野 正道

### 編集委員

星隈 順一	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
佐藤 隆	農林水産省
伊藤 早直	原子力安全保安院
本多 明	鉄道・運輸機構
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源機構
高村 和典	日本下水道事業団
吉村 豊	電源開発
藤田謙二郎	大林組
西田 光行	鹿島
橋本 弘章	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
有光 秀雄	コベルコ建機
金津 守	コマツ
奥山 信博	清水建設
山口喜久一郎	新キャタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
境 寿彦	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
森 秀文	ハザマ
宮木 克己	日立建機
庄中 憲	施工技術総合研究所

### 3月号予告 一特集 地下空間一

- ・春日井共同溝工事
- ・静清共同溝東地区工事
- ・秋田中央道路整備工事
- ・地下鉄工事における建設機械の環境負荷低減の取組み
- ・工期短縮を目指した大型掘削機によるトンネルNATM施工
- ・中之島新線における影響調査工事に適した新連続地中壁造成システム
- ・万能型シールド工法の開発
- ・道路トンネルにおけるシールド技術体系と最新技術
- ・長崎オランダ坂トンネル
- ・シールド機内から容易にカットビットを交換するトレール工法
- ・初鹿野換気整備回収工事

## No.648 「建設の機械化」

2004年2月号

(定価) 1部840円(本体800円)  
年間購読料9,000円

平成16年2月20日印刷

平成16年2月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷所 株式会社技報堂

## 発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二丁目 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380